

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

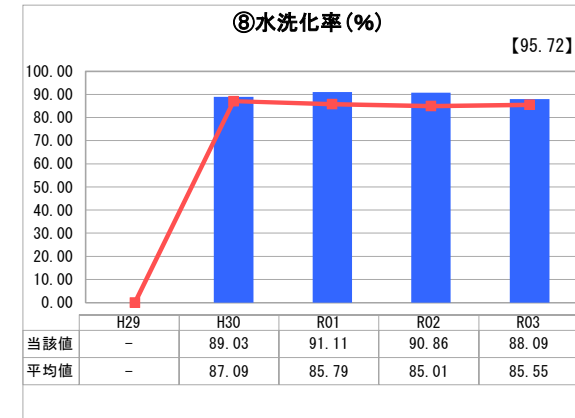
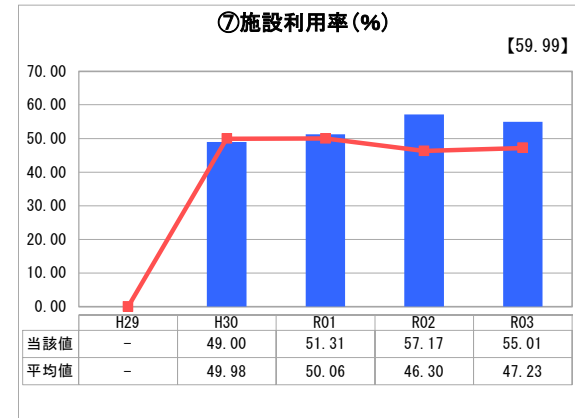
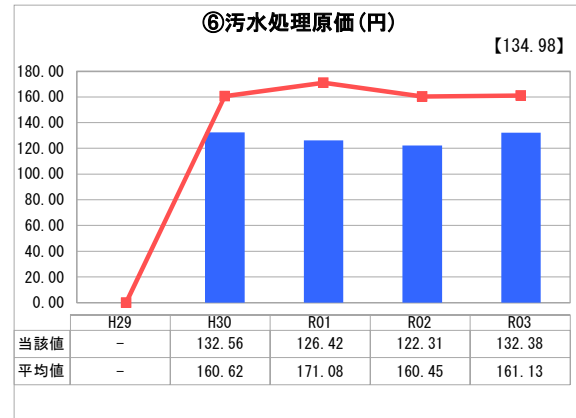
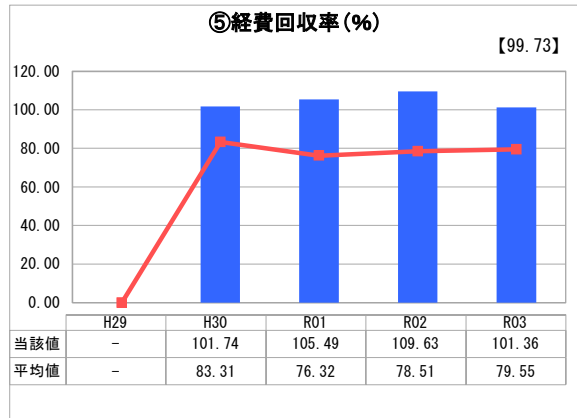
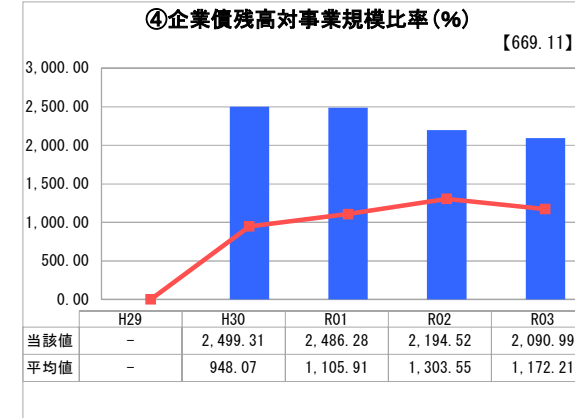
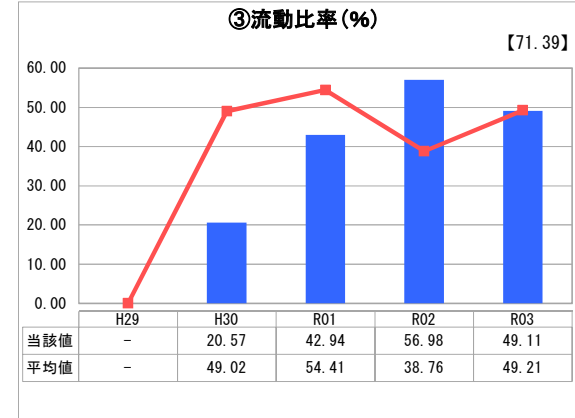
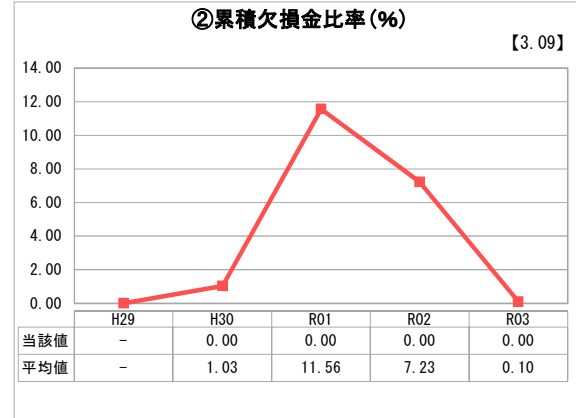
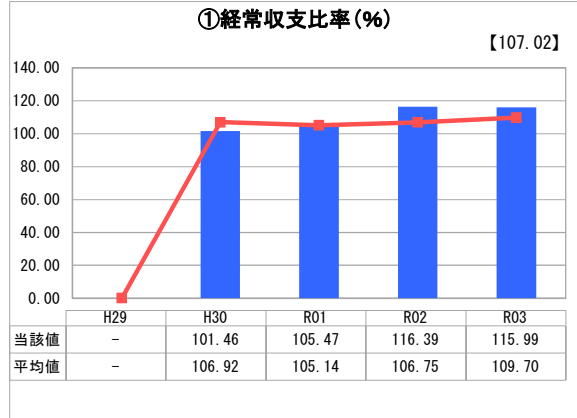
神奈川県 葉山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cb2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	70.17	72.86	89.26	2,244

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
32,864	17.04	1,928.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
23,901	4.00	5,975.25

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

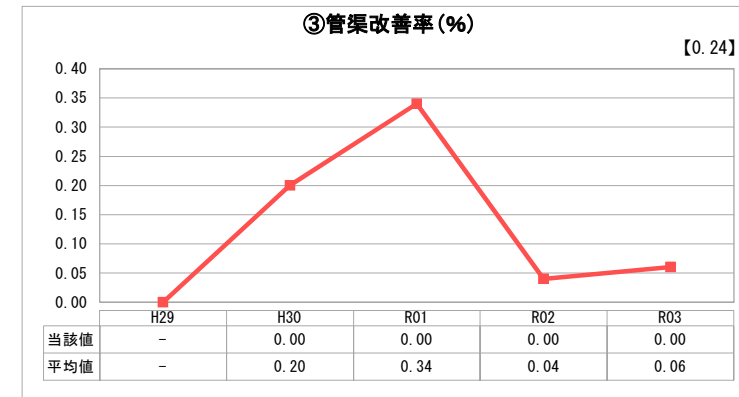
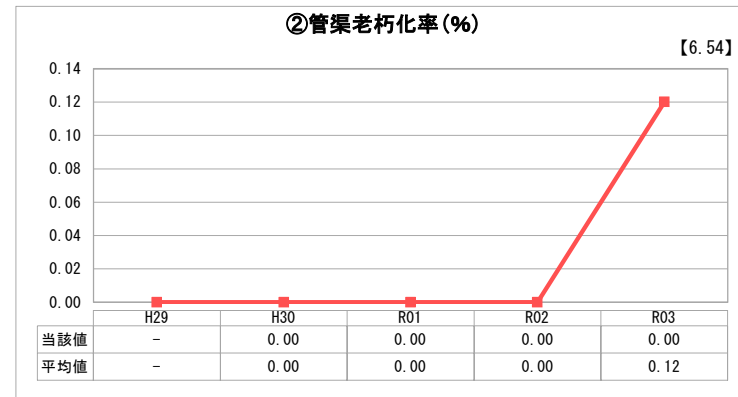
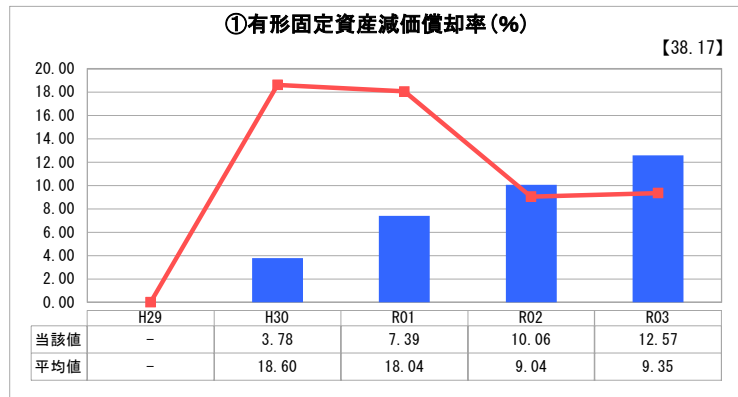
### 1. 経営の健全性・効率性について

- 100%を超えており単年度収支は黒字となっておりますが、下水道使用料以外の収入に依存している状況が続いており、下水道使用料収入の確保及び経費削減に引き続き努めます。
- 累積欠損金は発生していません。引き続き適正な事業運営に努めます。
- 100%に届いていない状況ですが、下水道管渠の新設整備等による普及率の向上に伴い、下水道使用料収入が増加することで支払能力は向上しており、比率は改善していく見込みです。
- 企業債残高の低減傾向を継続させるため、返済額と借入額の適正なバランスをふまえた計画的な建設投資に努めるとともに、下水道使用料の適正な水準への引き上げを行ってまいります。
- 100%を超えており良好な状態ですが、中長期的なコスト管理に取り組み、適正な事業運営に努めます。
- 類似団体より低い数値ですが、下水道整備区域の拡大により処理水量の増加は続く見込みです。将来の汚水施設の増設や改築・更新にかかる負担増も踏まえ、継続した効率化やコスト削減に努めます。
- 100%に届いていないのは、下水道の管渠整備を進めているため、現状では施設処理能力に余裕があるためであり、今後の普及率の向上に伴い増加する見込みです。
- 類似団体平均を上回っていますが、さらなる向上に向け下水道の普及促進に努めます。

### 2. 老朽化の状況について

- 主な施設として管渠・ポンプ場・処理場を有していますが、供用開始の平成10年度から整備を進めているため法定耐用年数を超過した資産の割合はまだ限定的な状況ですが、老朽化対策として令和2年度に策定した葉山町アセットマネジメント計画に基づき各施設・設備等の計画的な改築・更新を進めていきます。
- ※法定耐用年数を超過した管渠延長なし
- ※改善(更新・改良・修繕)管渠延長なし

## 2. 老朽化の状況



### 全体総括

平成28年度から令和7年度末までの10年間で市街化区域の下水道整備完了を目標に管渠整備を進めているため建設事業費が高額になっています。平成30年度から一部の管渠整備に官民連携事業を導入し工期短縮や経費低減を図りました。さらに汚水処理施設等の維持管理事業においても、官民連携による効率化を図ります。令和2年度に策定した葉山町下水道事業アセットマネジメント計画に基づいた保有施設・設備の計画的な改築・更新、適正な使用料収入の確保とコスト削減に取り組み、持続的かつ安定した事業運営に努めます。将来への取り組みとして、令和3年度に隣接する逗子市と相互連携協定を締結し、令和4年～5年度にかけて汚水処理施設の広域化・共同化の可能性検討調査を実施する予定です。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。